

LADY VERMILION  
BLEACH  
FAN BOOK

**SHE KNOW BELL!!**

For ADULT  
ONLY!

LADY VERMILION  
BLEACH  
FAN BOOK



**SHIT★KNOW★BE!!**

For ADULT  
ONLY!

眼鏡はそう かけたままで  
準備はOK? 超☆OK!

こんにちは、LADY VERMILIONの花祭まみ子です。  
今回は初めてのBLEACH個人誌ですよ。  
ジャンルは変わってもまあ、眼鏡男子受けのスタイルは  
無限ループっぽいのですが、  
まっすぐ(?)な女の子と、生真面目男の子の組み合わせ  
は大好きなので、物凄く生き生き描いちゃったのですが  
内容がアレな上に、時間がなくてインインバイ。  
そんなかんじですけども、しばしお付き合いいただけたら  
とおもいます。  
それでは、本編にお進みくださいませー。

さあ はじめましょ ♪



ごめん井上  
今は俺

ほんの少し  
彼の世界を  
垣間見ただけで

女の子とかが  
考えてる余裕ねえんだ

そ…そうだよね！  
うんっ。

あたしったら  
困らせちゃったよね

思い上がりでした。

だって黒崎君は

解ったような気になって  
思い切って気持ちを  
伝えてみました。

私を見てもいない。



わりい 井上  
俺 行かねえと！



あ、黒崎く…



おらっ  
ちよっと待て ルキア

グズグズするなら  
先に行くぞ！

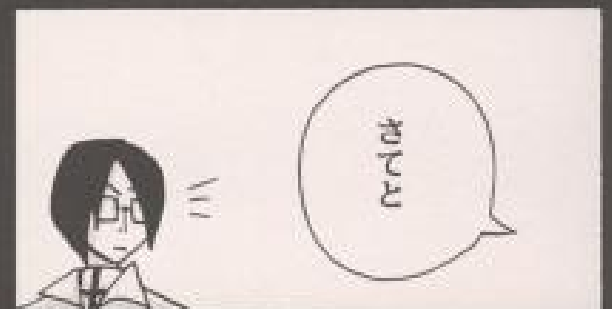
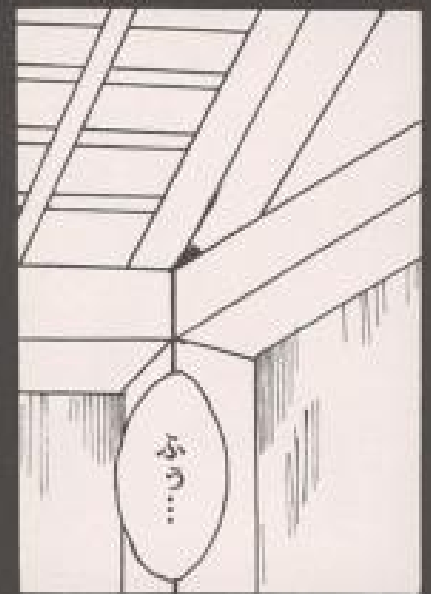


今は 女のこととか  
考えてる余裕ねえんだ…

わかったよ 黒崎君

やっほり  
そうなんだね。







でも あたし

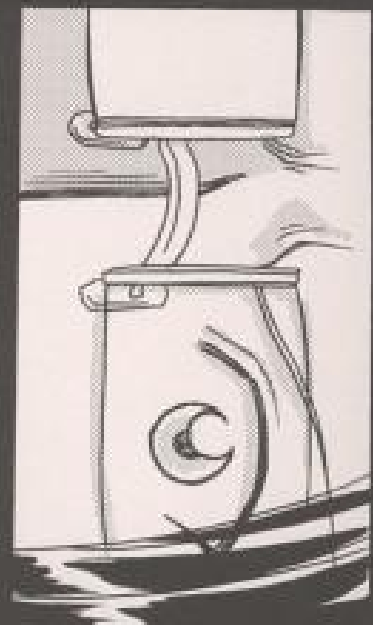
どうしても  
みんなで 一緒に  
仲良くしたいんだ…



おはようっ！

やっと  
目が 覚めたね  
石田くん。

… 井上…さん？



うわあああああッッ

何こし井上さんッ!!

縛られてる上に  
下着まで 無くなって  
って...うわああああ!

えへへへ  
石田くんと もっと仲良く  
なるために

あたしなりに  
工夫をしてみましたっ!



けっこう 大変だったんだよ  
ローブがないから  
自分で 編んじやったりして!

そっ そんな  
そんな事より  
早くほめてよ!  
はずかしいよ!







井上さん？

もう あたし  
後には引けないもん



だめだよ 石田くん



あたしね

誰も 傷つかない

寂しくならない  
方法を ずっと考えてたの



名付けて

「石田くんを中心に  
黒崎くんと あたしが  
間接セックス大作戦！」

うっわああああ！

何！ その物騒な名前！

アッ



この前 黒崎くんが  
あたしにね  
「女のこと考えてる  
余裕がない」って

そうだったの  
そのとき あたし  
すぐにわかったよ



隠したって  
ムダだよ  
あの日 二人を見て

黒崎くんは  
石田くんが好きなの  
だから あたし  
振られちゃった

ありえない!

井上さん  
キミ なにを  
言ってるんだ

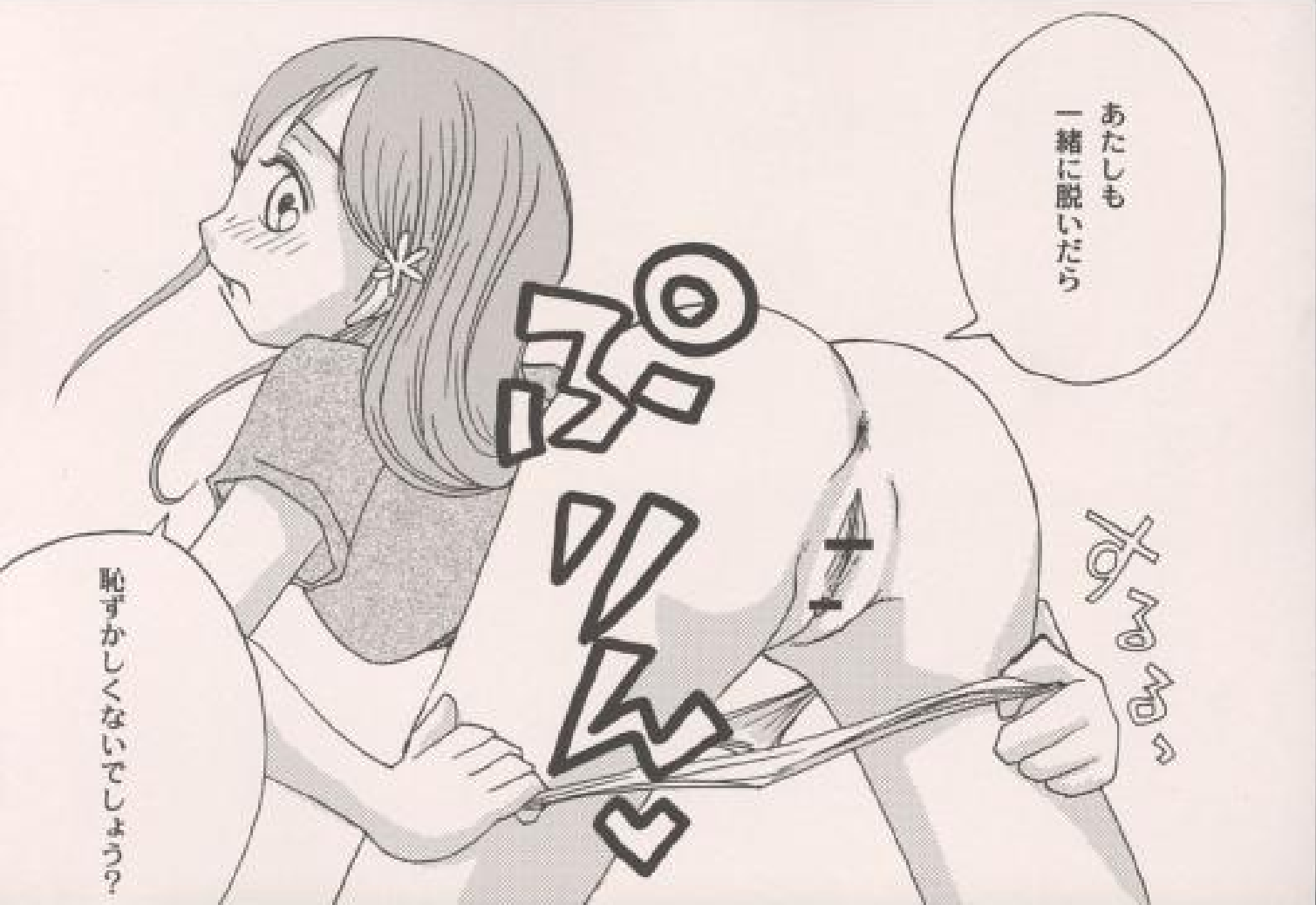


あたしの入り込む隙なんて  
ないかもしれないって  
思うほどだったもん

でも思ったの  
だったら 3人で  
仲良くしたらいいって

石田くんは もう  
あたしがいないと  
いられない身体に  
してあげる。





あたしも一緒に脱いたら

恥ずかしいならどしていいのー



好きにしているんだよ



女の子の裸を見るのは初めてかな?



あたしの言う事  
聞いてくれたらね

くぽっ♡



きやーっ  
石田くん 照れてる！  
かあわいいっ！

ぎゅ♡



いや あの  
困るよ…井上さん  
なんていうか…その…どうして…のか

本当に  
知らないんだ…



大丈夫だよ。  
あたしも  
お兄ちゃん以外と  
するのは  
はじめてだもん



…っあ！

石田くんは  
乳首も 感じるんだね

やっぱり マズイよ  
井上さん

ほくたち まだ  
高校生だし…



あああああー！

あがっ

あたしの作戦に  
おいて  
大事なことを  
忘れてたよ!

石田くん  
コッチは使える?

わー  
よかった！  
石田くん こっちでも  
元気いっばいだね！

やっ やめて！  
井上さんっ！

だめ  
それ抜いて

あ そっか

今日は 黒崎くんが  
いないもんね  
その気にさせちゃダメだね。

あっといふ間に  
指二本 啜え込んだじゃったよっ

よく考えろ…  
どうして「こんな」こと  
なってるんだ…

今日は「いいさ」  
気持ちよくしてあげるね



流されてる場合か？  
いや  
そうじゃない



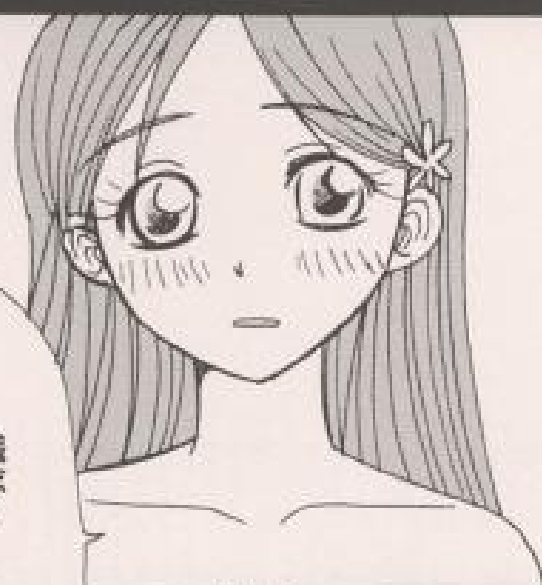






やっぱり  
間違ってるよ  
井上さん。

黒崎が好きなら  
こういう事は その…っ  
黒崎としないと意味がない  
ぼくは無関係だ



でも黒崎くんは  
あたしの事を  
見てくれないもの  
石田くんのせいだよ

協力してくれるなら  
許してあげよう  
思ってたのに…

残念…



あまり  
ひどいこと  
したくないのにな

ウアッ!

え?

石田くん  
お仕置きだね。

やめて!  
そこ 押さないで!



井上さんの言うこと  
ちゃんと聞くから



井上さん  
も…ダメ…

石田くんが  
素直になったら  
楽にしてあげる

何でも

なんでもするから



でも 石田君が  
その気になってくれて  
すごく嬉しいよ



石田くん  
痛かった？  
ごめんね

…うん





井上さん

井上

井上

ドボン

ドボン

その時 確かに 彼女は

ごめんねっ  
…ごめんね

ほくに 微笑ってた。





悪いのは 全部ぼくだ



これから  
ずっと一緒だよ



二人で  
黒崎くんを  
幸せにしてあげようね

規則正しく  
動いていたぼくらの世界が  
この日を最後に

大好きよ 石田くん

音を立てて 崩壊していった

to be continue



さてさて おたのしみいただけましたでしょうか？  
私ほとえば、いままでマンガ描いてきた中で  
史上まれに見る興奮振りでした。  
はじめて自分が納得するエロが描けた予感。  
自分の性癖とか、そういうのって案外思いも寄らないとこ  
ろに隠されてるもんだなー、としみじみしみじみ思ったり。  
やっ自分ほコスプレ好きM女だと思っただけでもっ  
実はS女だったみたいですかホーとかとか。  
真面目な眼鏡の男の子を征服とか、死ぬ前に一度ほ  
やってみたいです。  
明日世界が滅ぶとしたら、まず実行したいと思う項目の  
ひとつでございます。  
なんというか、いつもどおり男子にも女子にも向けてない  
混沌な内容だったわけですが、このお話残念なことに  
まだ続きます。井上さんと石田くんほ今の私の生きる活カ  
でございますよ！  
今回の個人誌もさっことんな調子でしょうが、また誌上  
でお会いできることを願っています。  
ではではー☆

花祭まみ子



**SHE KNOWS!**

**LADY VERMILION**